

事務事業名		葛生隣保事業相談所相談事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	隣保館
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	葛生隣保事業相談所			
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 人権問題の解決					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2049	一般	2	1	13	葛生隣保事業相談所相談事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S62年度～ 年度		根拠法令 条例等	社会福祉法及び施行規則 佐野市隣保事業生活相談員 設置規則及び要綱					
	実施方法		直営		事業分類		相談事業		該当なし		
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
生活相談員による日常相談		生活相談員による日常相談や訪問相談						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		相談件数	件	811	897	750	750	750
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
地域住民及び市民		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		人口	人	123,182	122,582	121,522		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
目的		地域住民及び市民の様々な相談に対応する。						
		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		相談希望者に対する応対率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
日常生活において、人権を意識している。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		人権講演会参加者で、「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した参加者の割合	%	90.4	93.6	-	-	-

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	財源内訳	千円										
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	7		7		7		7		7	
	一般財源	千円	1,681		1,678		1,698		1,698		1,698	
	事業費計(A)	千円	1,688		1,685		1,705		1,705		1,705	
	事業費の内訳	千円	報酬	1,459	報酬	1,459	報酬	1,460	報酬	1,460	報酬	1,460
			共済費	229	共済費	226	共済費	245	共済費	245	共済費	245
人件費	人	3		3		3		3		3		
のべ業務時間	時間	140		140		140		140		140		
人件費計(B)	千円	545		552		552		552		552		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,233		2,237		2,257		2,257		2,257		

事務事業名	葛生隣保事業相談所相談事業	担当部	市民生活部	担当課	隣保館	担当係	葛生隣保事業相談所
-------	---------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国の地域改善対策特別措置法に基づく国庫補助により相談所を建設。昭和62年開館以来、社会福祉法に基づく隣保事業のうち各種相談事業を行っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国における同和対策事業は、昭和44年同和対策特別措置法に始まり平成14年まで特別対策事業が実施され、その後、一般対策事業として実施されている。 相談所で行う隣保事業は、社会福祉法に基づく隣保事業として開館以来実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	相談者に安心して相談いただいている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	社会福祉法の規定に基づく隣保事業の主要な事業であり、同和問題をはじめとする人権問題の速やかな解決に資するための事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	同和問題をはじめ、様々な人権問題の速やかな解決は国及び行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	地域住民及び市民の様々な相談に応じることで、同和問題をはじめとする人権問題の解決につながる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	現在の相談員体制で継続的に行うことで相談者が安心して相談を受けられるとともに、相談者全てに対応ができています。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 隣保館各種相談事業、田沼福祉コミュニティセンター各種相談事業 各館の地域性、独自性を尊重し相談事業を推進している。
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	生活相談員(非常勤特別職)一人のため、削減余地はない。 隣保事業の重要な事業であるので、継続して実施していく。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	相談は市民だれでも無料で受けられる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		同和問題をはじめとする人権問題の解決が図られたと市民に理解されるまで事業を継続する。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					